

特集陳列  
雛まつりと人形

2015年2月21日(土)ー4月7日(火)

特別展観  
天野山金剛寺の名宝

2015年3月4日(水)ー3月29日(日)

# 春も京博、平成知新館 名品ギヤーラリ。



重文 日月山水図屏風  
右隻(部分) 金剛寺蔵

特集陳列

# 雛まつりと人形

会期＝2015年2月21日(土)～4月7日(火)

会場＝京都国立博物館 平成知新館 特別展示室(1F-1)



有職立雛 京都国立博物館蔵



賀茂人形 雀踊り 京都国立博物館蔵

雛まつりは古くから行われているようと思われがちですが、人形を飾つてこの日を祝うようになったのは、江戸時代の初めとされています。

当時の雛人形には、その時代の元号を冠して呼ばれる寛永雛・享保雛や、人形師の名を付けたという次郎左衛門雛、江戸で誕生した古今雛、公家の装束を正しく写した有職雛などがあります。このたびの展示では、各種の雛人形を揃え、雛人形の変遷をご紹介します。

また本年は、新たにご寄贈いたいた、天保15年(1844)に初節供を迎えた女子のために眺えられた御殿飾り雛のお披露目をします。現代では見られない関西風の御殿飾り雛の華やかさを、ぜひご覧ください。



羯鼓 金剛寺蔵

# 天野山 金剛寺の 名宝

特別展観

会期＝2015年  
3月4日(水)～3月29日(日)

会場＝京都国立博物館  
平成知新館 展示室  
(1F-1・1F-3・1F-5)

金剛寺は、山号を天野山といい、もと行基の創建と伝える名刹です。平安時代後期、高野山で修行した阿觀(あくわん)(1136～1207)が再興した真言宗の寺院であり、鳥羽院の第三皇女八条院暲子(1137～1211)の祈願所にもなっています。その後、南北朝時代には金剛寺食堂が南朝の後村上天皇(1328～68)の行在所(臨時の天皇の居所)となつたことは、大変重要な出来事となりました。この展観では、平安時代初期の律令の施行細則を記した『延喜式』四巻(国宝)のほか、「日月山水図屏風」(重要文化財)をはじめとする絵画・典籍・甲冑類などの優品と、近年の調査によって見出された国文学・漢文学関係の重要な資料をあわせて展示いたします。



重文 日月山水図屏風 金剛寺蔵



## 特別展観 桃山時代の狩野派 名品ギャラリー

—承徳の後継者たち—

2015年4月7日(火)～5月17日(日)  
会場＝京都国立博物館 明治古都館(本館)

主催＝京都国立博物館、毎日新聞社、  
NHK京都放送局、NHKネット近畿

以下おもび満20歳以上の方  
\*障がいの方とその介護者1名は無料となります。  
障がい者手帳などを提示ください。  
\*キヤンバスメンバーズは、学生証をご提示いただくと、  
無料となります。

開館時間＝午前9時30分～午後5時(入館は閉館の30分前まで)  
休館日＝月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館)  
観覧料＝一般 520円(410円) 大学生 260円(210円) \*内は団体20名以上。  
\*高校生以下および満18歳未満の方は無料。  
\*障がいの方とその介護者1名は無料となります。  
障がい者手帳などを提示ください。  
\*キヤンバスメンバーズは、学生証をご提示いただくと、  
無料となります。

京都国立博物館 東山七条  
KYOTO NATIONAL MUSEUM  
京都府東山区茶屋町522  
お問い合わせ＝075-525-12473  
(テレホンサービス)  
<http://www.kyohaku.go.jp/>



撮影＝北嶋俊治